

平成30年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					H30年度		H29年度		人件費(目安)		H30年度				R2年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値(基準値)	H29年度	H30年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題	
I-1-(1)-⑥ 地域などと行政の連携・協働による子育て支援の推進	1	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2カ年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	目標	20 公園	20 公園	—	102,400	127,414	103,866	6,825	課長	0.05 人	順調	ワークショップ開催、計画に基づく公園整備ともに、概ね計画どおりに進んでおり「順調」と判断。	順調	【評価理由】 地域と行政が連携して魅力ある公園づくりを推進するため、整備の前にワークショップを行うなど、地域のニーズを反映させるための取り組みを推進している。 概ね計画どおり実施できており「順調」と判断。 【課題】 地域と行政が連携した魅力ある公園づくりを更に推進する必要がある。	今後も継続して地域と行政が連携し、魅力ある公園づくりに取り組む。
						実績	23 公園	16 公園						係長	0.10 人					
						達成率	115.0 %	80.0 %						職員	0.70 人					
I-3-(1)-② 教育関係施設の連携による人材育成	2	【施策評価のみ】 到津の森公園による学習プログラムの提供	公園管理課	【施策の内容】 小学生を対象とした、動物や自然とのふれあいを通して命の大切さや自然環境の保護の必要性を学ぶプログラムの提供	【施策の指標】 「市民環境力」を高め、環境保全に対する意識が高まった状態	目標	—	—	—	—	—	—	課長	— 人	—	—	順調	【評価理由】 遠足等で到津の森公園を訪れる小学生に対し、学習プログラムの提供を継続している。環境保全意識向上の機会を提供できており「順調」と判断。	今後も継続して小学生への学習プログラムを提供する。	
						実績	—	—					係長	— 人						
						達成率	—	—					職員	— 人						
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	3	河川改修事業の推進	水環境課	近年、ゲリラ豪雨や都市化の進展に起因する浸水被害が増加している。浸水被害を抑制するため、治水事業の根幹となる河川改修を推進する。	浸水被害の低減	目標	—	—	河川毎に計画している降雨(1時間50~70mm程度)に対応できる状態(2033年度)	1,551,588	2,603,204	2,494,475	86,500	課長	1.00 人	順調	河川整備率(目標86%、実績85.4%)が概ね目標に達したため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を推進している。概ね予定通りに事業を推進できており「順調」と判断。 【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。
						実績	—	—						係長	1.50 人					
						達成率	—	—						職員	8.00 人					
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	4	旦過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川旦過地区整備室	長年市民に親しまれている旦過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった旦過地区の再整備を推進する。	神嶽川(旦過地区)の治水安全度向上	目標	—	—	旦過地区において概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる状態	117,900	201,517	335,119	30,750	課長	0.50 人	順調	地元関係者と協議を進めながら、令和2年度の旦過地区再整備事業着手に向けた調査、検討を実施した。また、河川改修についても計画通りに整備を進めることができたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 頻発する局地的豪雨などによる浸水被害を抑制するため、計画的に河川の整備を推進している。概ね予定通りに事業を推進できており「順調」と判断。 【課題】 計画的に河川整備を進める必要がある。	今後も継続して治水事業の根幹となる河川整備を推進する。
						実績	—	—						係長	1.00 人					
						達成率	—	—						職員	2.00 人					
II-1-(4)-④ 総合的な災害対策の推進	5	災害関連地域防災がけ崩れ対策事業	水環境課	2018年7月豪雨に伴い発生した自然がけの崩壊箇所において、がけ崩れ防止対策工事を行い次期降雨等による再度災害を防止することで人命を保護し、市民生活の安定を図る。	対象箇所の再度災害防止	目標	—	—	再度災害を防止することにより、人命保護と市民生活の安定を確保できる状態	—	14,942	—	74,000	課長	1.00 人	順調	平成30年度12,3月補正を経て、地元地権者等と協議が整った箇所から順次事業を実施した。順調に協議が進み事業進捗が図られているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高年齢者の健康づくりに資する、身近な公園における健康遊具の設置を計画通りに進めることが出来ており「順調」と判断。 【課題】 高年齢者の健康づくりを促進するため、環境整備を更に推進する必要がある。	今後も継続して高年齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。
						実績	—	—						係長	1.00 人					
						達成率	—	—						職員	7.00 人					
II-2-(3)-④ 個人の健康づくりを支える環境の整備	6	健康づくりを支援する公園等整備事業	緑政課	公園に高齢者の健康増進に配慮した健康遊具を設置し、運動教室を開催して、利用者に使い方を説明する。 継続的にこの健康遊具を利用することにより、高齢者の体力増進に繋げる。 また、ウォーキングを通じた健康づくりをサポートする路面表示などを実施する。	高齢者に配慮した健康遊具の設置公園数	目標	2 公園	1 公園	累計30公園(R5年度)	17,000	20,881	20,967	3,650	課長	0.10 人	順調	計画通りの公園数を整備出来ており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高年齢者の健康づくりに資する、身近な公園における健康遊具の設置を計画通りに進めることが出来ており「順調」と判断。 【課題】 高年齢者の健康づくりを促進するため、環境整備を更に推進する必要がある。	今後も継続して高年齢者の健康づくりに資する環境整備に取り組む。
						実績	2 公園	1 公園						係長	0.10 人					
						達成率	100.0 %	100.0 %						職員	0.20 人					

平成30年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					H30年度		H29年度		人件費(目安)		H30年度				R2年度予算要求に向けた施策の方向性				
					指標名等	現状値(基準値)	H29年度	H30年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題					
Ⅲ-1-(1)-③ まち美化活動の拡充	7	ボランティアネットワークの推進(道路サポーター)	道路計画課	市が維持及び管理する道路において、道路清掃・美化などのボランティア活動を行う地域の団体を対象に、清掃用具や花苗の支給などにより支援する。	道路サポーター加入団体数 ※中期目標改訂	—	目標 218 団体	220 団体	230団体(R1年度)	16,297	14,168	16,481	9,400	課長 0.05 人	順調	加入団体数が目標を達成できており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散する団体もある一方で、新たに結成された団体もあり、団体数としては概ね目標を達成できており「順調」と判断。 【課題】 団体数の増加・維持に向けた取り組みを推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加・維持に取り組む。					
	8	ボランティアネットワークの推進(公園愛護会)	公園管理課	10名程度の地域住民で組織されるボランティア団体で、公園の美化活動・公園施設の点検や禁止行為の連絡・公園利用者のマナーづくり・市民花壇づくりなどを行い、活動面積に応じて活動費を助成している。	公園愛護会の結成数	—	目標 1,160 団体	1,160 団体	1,160団体(毎年度)	45,849	45,304	45,386	18,135	課長 0.24 人						順調	会員の減少や高齢化により解散する団体があるものの、全体としては目標の団体数を達成できており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 高齢化等の理由により解散する団体もある一方で、新たに結成された団体もあり、団体数としては概ね目標を達成できており「順調」と判断。 【課題】 団体数の増加・維持に向けた取り組みを推進する必要がある。	今後も既存団体の支援や団体数の増加・維持に取り組む。
	9	ボランティアネットワークの推進(河川愛護団体)	水環境課	地域の住民で構成する河川愛護団体に清掃道具購入の費用等となる補助金を交付することにより、美化活動を広げる。また、美化活動に参加することにより、地域の河川を身近に感じ、自分たちの川として愛着を持つような啓発活動へとつなげる。	河川愛護団体数	—	目標 71 団体	72 団体	73団体(R1年度)	2,250	2,280	2,250	440	課長 0.01 人										
Ⅲ-1-(2)-① 魅力ある生活空間づくり	10	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇(公共花壇)の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ!花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体(H27年度)	目標 601 団体	610 団体	628団体(R2年度)	55,720	46,740	44,408	23,150	課長 0.10 人	順調	市民花壇活動団体数は、目標には達していないものの増加傾向を維持しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 魅力ある生活空間をつくるため、街かどの花壇整備や地域のニーズを反映した公園づくりを推進している。 市民花壇活動団体数は増加傾向にあり、市民ボランティア等との協働は着実に推進されている。 また、地域のニーズを反映した公園整備についても計画に沿って進捗しており「順調」と判断。 【課題】 高齢化が進む中で市民花壇活動団体数の増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。					
	11	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2か年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	目標 20 公園	20 公園	—	102,400	127,414	103,866	6,825	課長 0.05 人						順調	ワークショップ開催、計画に基づく公園整備ともに、概ね計画どおりに進んでおり「順調」と判断。	順調	【評価理由】 魅力ある生活空間をつくるため、街かどの花壇整備や地域のニーズを反映した公園づくりを推進している。 市民花壇活動団体数は増加傾向にあり、市民ボランティア等との協働は着実に推進されている。 また、地域のニーズを反映した公園整備についても計画に沿って進捗しており「順調」と判断。 【課題】 高齢化が進む中で市民花壇活動団体数の増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。
	11	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2か年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	実績 23 公園	16 公園	—	102,400	127,414	103,866	6,825	係長 0.10 人										
11	地域に役立つ公園づくり事業	みどり・公園整備課	身近な公園の再整備について、小学校区単位で開催するワークショップで地域住民の意見を聞き、地域ニーズを反映した公園整備を行うことで、これまで以上に利用される公園を目指す。計画段階から地域住民が参加することで公園への愛着を高め、地域活動など公園利用の活性化につなげる。計画策定後は、翌年から概ね2か年で再整備を行う。	地域に役立つ公園づくり事業による整備公園数	—	達成率 115.0 %	80.0 %	—	102,400	127,414	103,866	6,825	職員 0.70 人	順調	ワークショップ開催、計画に基づく公園整備ともに、概ね計画どおりに進んでおり「順調」と判断。	順調	【評価理由】 魅力ある生活空間をつくるため、街かどの花壇整備や地域のニーズを反映した公園づくりを推進している。 市民花壇活動団体数は増加傾向にあり、市民ボランティア等との協働は着実に推進されている。 また、地域のニーズを反映した公園整備についても計画に沿って進捗しており「順調」と判断。 【課題】 高齢化が進む中で市民花壇活動団体数の増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して、街かどの花壇整備や地域ニーズを反映した公園整備など、魅力ある生活空間づくりに取り組む。						

平成30年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					H30年度		H29年度		人件費(目安)		H30年度				R2年度予算要求に向けた施策の方向性
					指標名等	現状値(基準値)	H29年度	H30年度	中期目標	予算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	金額(千円)	職位	人数	事業評価	評価の理由	局施策評価	局施策評価の理由及び課題	
Ⅲ-1-(2)-③ 市民に親しまれる水際線・農山村風景づくり	12	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことにより、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	目標	—	—	生態系に配慮した整備を行うことで、自然を身近に感じる状態	453,000	603,600	529,800	25,750	課長	0.50	順調	環境に配慮した護岸整備延長(目標:35,500m、実績:36,200m)を計画通り進めることができたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】治水と環境のバランスに配慮して事業を推進する必要がある。	今後とも限られた敷地で、最大限生態系に配慮した整備を推進する。
						実績	—	—						係長	0.50					
						達成率	—	—						職員	2.00					
Ⅲ-1-(3)-② 安心して通行できる身近な道路の整備	13	バリアフリーのまちづくり	道路計画課	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるよう、バリアフリーのまちづくりを進める。具体的には、歩道の新設や拡幅、段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置などのバリアフリー化を行う。	主要駅周辺地区の主要経路の整備率	目標	91%	95%	95%(R1年度)	820,000	1,040,444	1,082,154	26,150	課長	0.10	順調	関係団体と協議を行いながら、概ね計画通りに整備を進めることが出来ており「順調」と判断。	順調	【評価理由】関係団体と協議しながら、通学路の改善要望対応や、子どもから高齢者まで誰もが安心して通行できる環境整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】バリアフリー道路等のハード面の整備を推進するとともに、取り組みの周知等のソフト面の施策の充実も図る必要がある。	今後とも誰もが安全で快適に通行できる環境の整備を推進する。
						実績	90%	92%						係長	1.00					
						達成率	98.9%	96.8%						職員	2.00					
	14	通学路の安全対策	道路計画課	登下校中の児童が交通事故に巻き込まれず、安全に安心して通学できる環境を整えるため、教育委員会や学校関係者、警察と一体となって、さらなる通学路の安全対策を推進する。	通学路の危険箇所における対策完了箇所数	目標	—	—	—	963,500	851,539	1,297,124	26,150	課長	0.10	順調	「北九州市通学路安全プログラム」に基づき、道路管理者や警察、学校関係者が連携して通学路の安全対策を実施している。概ね計画通りに整備が進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】関係団体と協議しながら、通学路の改善要望対応や、子どもから高齢者まで誰もが安心して通行できる環境整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】バリアフリー道路等のハード面の整備を推進するとともに、取り組みの周知等のソフト面の施策の充実も図る必要がある。	今後とも誰もが安全で快適に通行できる環境の整備を推進する。
						実績	145箇所	93箇所						係長	1.00					
						達成率	—	—						職員	2.00					
Ⅴ-1-(2)-① 都心のにぎわいづくり	15	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	歩いてみたくなる歩行空間を創出	目標	—	—	歩いてみたくなる歩行空間の創出	972,000	612,967	1,407,600	61,500	課長	1.00	順調	小倉駅南北公共連絡通路のリニューアルが、概ね計画通り進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】都心のにぎわいづくりに資する小倉駅南北公共連絡通路の整備、及び旦過地区のまちづくりに伴う河川整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に事業を進める。
						実績	—	—						係長	2.00					
						達成率	—	—						職員	4.00					
	16	旦過地区まちづくりに伴う河川整備事業	神嶽川旦過地区整備室	長年市民に親しまれている旦過市場の魅力向上と、市場に隣接する神嶽川の治水安全度の向上のため、河川事業と一体となった旦過地区の再整備を推進する。	神嶽川(旦過地区)の治水安全度向上	目標	—	—	旦過地区において概ね50年に一度発生する降雨にも対応できる状態	117,900	201,517	335,119	30,750	課長	0.50	順調	地元関係者と協議を進めながら、令和2年度の旦過地区再整備事業着手に向けた調査、検討を実施した。また、河川改修についても計画通りに整備を進めることができたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】都心のにぎわいづくりに資する小倉駅南北公共連絡通路の整備、及び旦過地区のまちづくりに伴う河川整備を概ね計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に事業を進める。
						実績	—	—						係長	1.00					
						達成率	—	—						職員	2.00					
Ⅴ-1-(2)-② 文化・交流、居住機能を重視した副都心づくり	17	小倉駅・黒崎駅前の賑わいづくりの推進	道路計画課	北九州市の玄関口となる小倉都心部と黒崎副都心部の駅前において、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を行い、まちの賑わいを推進する。	黒崎駅南北自由通路利用者数	目標	—	6,500人/日	6,500人/日(R1年度)	972,000	612,967	1,407,600	61,500	課長	1.00	順調	黒崎駅前の道路環境整備が、概ね計画通りに進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】黒崎副都心部の駅前における、魅力的な都市環境の創造につながる道路環境整備を概ね計画通りに推進できており「順調」と判断。 【課題】取り組みを継続する必要がある。	今後とも計画的に事業を進める。
						実績	—	工事中						係長	2.00					
						達成率	—	—						職員	4.00					

平成30年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標(目標・実績)					H30年度		H29年度		人件費(目安)		H30年度				R2年度予算要求に向けた 施策の方向性
					指標名等	現状値 (基準値)	H29年度	H30年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
V-2-(2)- ① 広域物流 ネット ワークの 強化	18	自動車専用道路 ネットワークの整 備	道路 計画 課	港湾・空港・鉄道ター ミナルなど、拠点間を結 ぶ交通・物流ネットワ ークの構築や地域間の連 携・交流促進を図るた め、環状放射型自動車専 用道路ネットワークの整 備を推進する。	朝ピーク時の響灘地 区～東田地区間の所 要時間	43分 (H21年 度)	目標 — 実績 — 達成率 —	—	13分 (R9年 度)	2,380,000	2,224,835	1,557,261	69,000	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 5.00 人	順調	戸畑枝光線の橋梁工事等が、 概ね計画通りに進捗しており 「順調」と判断。	順調	【評価理由】 広域物流ネットワークの強化 に向けた交通網の整備を実施し ている。 戸畑枝光線をはじめとした主 要な道路の整備を概ね計画通り に推進出来ており「順調」と判 断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後も計画的に道路整備を進 める。	
	19	主要な道路の整備 (恒見朽網線な ど)	道路 計画 課	主要な街路・道路事業 を重点的かつ速やかに整 備することで、市内の渋 滞対策、物流ネットワ ークの強化、地域間の連 携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州 空港間の所要時間	36分 (H21年 度)	目標 — 実績 — 達成率 —	—	28分 (R7年 度)	4,608,000	8,378,452	6,425,581	217,250	課長 3.00 人 係長 6.50 人 職員 15.70 人	順調	道路整備が、概ね計画通りに 進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民の交通利便性と産業活動 の支援を実施している。 戸畑枝光線をはじめとした主 要な道路の整備を概ね計画通り に推進出来ており「順調」と判 断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後も計画的に道路整備を進 める。	
V-2-(2)- ② 市民の交 通利便性 の向上と 産業活動 の支援	20	自動車専用道路 ネットワークの整 備	道路 計画 課	港湾・空港・鉄道ター ミナルなど、拠点間を結 ぶ交通・物流ネットワ ークの構築や地域間の連 携・交流促進を図るた め、環状放射型自動車専 用道路ネットワークの整 備を推進する。	朝ピーク時の響灘地 区～東田地区間の所 要時間	43分 (H21年 度)	目標 — 実績 — 達成率 —	—	13分 (R9年 度)	2,380,000	2,224,835	1,557,261	69,000	課長 1.00 人 係長 2.00 人 職員 5.00 人	順調	戸畑枝光線の橋梁工事等が、 概ね計画通りに進捗しており 「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民の交通利便性と産業活動 の支援を実施している。 戸畑枝光線をはじめとした主 要な道路の整備を概ね計画通り に推進出来ており「順調」と判 断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後も計画的に道路整備を進 める。	
	21	主要な道路の整備 (恒見朽網線な ど)	道路 計画 課	主要な街路・道路事業 を重点的かつ速やかに整 備することで、市内の渋 滞対策、物流ネットワ ークの強化、地域間の連 携・交流促進を図る。	新門司地区～北九州 空港間の所要時間	36分 (H21年 度)	目標 — 実績 — 達成率 —	—	28分 (R7年 度)	4,608,000	8,378,452	6,425,581	217,250	課長 3.00 人 係長 6.50 人 職員 15.70 人	順調	道路整備が、概ね計画通りに 進捗しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民の交通利便性と産業活動 の支援を実施している。 戸畑枝光線をはじめとした主 要な道路の整備を概ね計画通り に推進出来ており「順調」と判 断。 【課題】 取り組みを継続する必要がある。	今後も計画的に道路整備を進 める。	
V-3-(1)- ② 都市基 盤・施設 の適正な 維持管理	22	橋梁・トンネル・ モノレールの長寿 命化への計画的な 取り組み	道路 維持 課	市内には、約2,000の 橋梁と39本のトンネル、 総延長約9kmのモノレ ールがあり、高齢化・老朽 化が進行していることか ら、予防保全の観点での 長寿命化事業に取り組ん でいる。 事業の実施にあたって は、施設毎に個別施設計 画を策定し、5年に1回の 定期点検に基づく計画的 な維持管理を実施するこ とで、市民の安全・安心 を確保するとともに、 トータルコストの縮減や 予算の平準化を図る。 ・「北九州市橋梁長寿命 化修繕計画」(2010.3策 定、2017.3改定) ・「北九州市トンネル長 寿命化修繕計画」 (2013.2策定、2017.3改 定) ・「北九州モノレール長 寿命化計画」(2011.6策 定)	主要橋梁及びトンネ ルの健全性向上によ る市民の安全・安心 の確保	—	目標 — 実績 — 達成率 —	—	全主要橋 梁及びト ンネルの 健全性Ⅱ 以上(R5 年度)	2,193,150	2,108,633	2,173,585	157,525	課長 1.85 人 係長 3.50 人 職員 13.50 人	順調	橋梁、トンネルのリニュー ール及びモノレールの長寿命化 に向けた取り組みは、概ね計画 通りに進捗しており「順調」と判 断。	順調	【評価理由】 橋梁、トンネル及びモノレ ールの都市基盤の長寿命化を概ね 計画通りに推進出来ており「順 調」と判断。 【課題】 引き続き計画的に長寿命化を 実施する必要がある。	今後も引き続き計画に従って 長寿命化を推進する。	

平成30年度 行政評価の取組結果(建設局)

【Plan】 計画 / 【Do】 実施															【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標 (目標・実績)					H30年度		H29年度		人件費 (目安)			H30年度				R2年度予算要求に向けた 施策の方向性
					指標名等	現状値 (基準値)	H29年度	H30年度	中期 目標	予算額 (千円)	決算額 (千円)	決算額 (千円)	金額 (千円)	職位	人数	事業 評価	評価の理由	局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
VI-1-(2)- ②	23	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	2,674	2,674	2,674	1,120	課長 0.03 人	順調	農業体験教室の実施回数は45回と目標の50回には満たなかったものの、目標を上回る参加者数があり「順調」と判断。	順調	【評価理由】 農業体験を通じた環境政策への市民参加を推進している。目標以上の多くの市民の参加を得られており「順調」と判断。 【課題】 今後も継続して実施する必要がある。	今後も継続して農業体験教室を実施する。		
実績	2,260 人	2,070 人	2,674	2,674	2,674	1,120	係長 0.04 人														
達成率	113.0 %	103.5 %					職員 0.05 人														
VI-2-(1)- ③	24	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標 601 団体	610 団体	628団体 (R2年度)	55,720	46,740	44,408	23,150	課長 0.10 人	順調	市民花壇活動団体数は、目標には達していないものの増加傾向を維持しているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇活動団体数は増加傾向にあり、市民ボランティアとの協働は着実に推進出来ているため「順調」と判断。 【課題】 今後も継続して実施する必要がある。	今後も継続して市民との協働や街かどの整備など、総合的な緑化を推進する。		
実績	571 団体	574 団体	44,408	23,150	2.00 人																
達成率	95.0 %	94.1 %					職員														
VI-4-(1)- ②	25	身近に自然を感じる河川整備事業	水環境課	都市内に唯一残された貴重な自然空間である河川を、水際の植生や自然な流れの復元などにより、生物の生息・生育環境に配慮した整備を行うことによって、ホタルの飛翔や緑の増加など、身近に自然を感じる水辺環境整備事業を行っている。	環境に配慮した護岸整備	—	目標 —	—	生態系に配慮した整備を行うことで、自然を身近に感じる状態	453,000	603,600	529,800	25,750	課長 0.50 人	順調	環境に配慮した護岸整備延長（目標：35,500m、実績：36,200m）を計画通り進めることができたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民に親しまれる水際線づくりを進めるため、環境に配慮した護岸整備を計画通りに推進出来ており「順調」と判断。 【課題】 治水と環境のバランスに配慮して事業を推進する必要がある。	今後とも限られた敷地で、最大限生態系に配慮した整備を推進する。		
実績	—	—					係長 0.50 人														
達成率	—	—					職員 2.00 人														
VI-4-(1)- ③	26	「花やみどり」による彩りと潤いのあるまちづくり	緑政課	都市景観の向上と潤いのある街づくりを目指し、花壇（公共花壇）の整備を行うと共に、市民花壇やスポンサー花壇、うえるっちゃ！花壇といった、市民ボランティアや企業・団体と一体となって美しく快適なまちづくりを推進する。	市民花壇活動団体数	570団体 (H27年度)	目標 601 団体	610 団体	628団体 (R2年度)	55,720	46,740	44,408	23,150	課長 0.10 人	順調	市民花壇活動団体数は、目標には達していないものの増加傾向を維持しており「順調」と判断。	順調	【評価理由】 市民花壇活動団体数は増加傾向にあり、市民ボランティアとの協働は着実に推進出来ている。 また、農業体験教室にも目標以上の多くの市民の参加を得られており「順調」と判断。 【課題】 今後も市民花壇活動団体数の増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して、街かどの花壇整備や農業体験教室など、市民が自然に触れ合う場や機会の提供を推進する。		
実績	571 団体	574 団体	44,408	23,150	2.00 人																
達成率	95.0 %	94.1 %					職員														
VI-4-(1)- ③	27	長野緑地を利用した農業体験教室	公園管理課	計画地内に複数の活動エリアを設け、一年を通してそれぞれのエリアで有機農業栽培管理や花作りを体験する市民参加による農地等の整備、管理等に取り組む。また、子どもたちが自然の中で遊び、学ぶ場を提供したり、収穫物を使用したイベントなど、市民の参加を拡大するイベント等を開催する。	農業体験教室への参加者数	—	目標 2,000 人	2,000 人	2,000人 (毎年度)	2,674	2,674	2,674	1,120	課長 0.03 人	順調	農業体験教室の実施回数は45回と目標の50回には満たなかったものの、目標を上回る参加者数があり「順調」と判断。	順調	【評価理由】 農業体験を通じた環境政策への市民参加を推進している。目標以上の多くの市民の参加を得られており「順調」と判断。 【課題】 今後も市民花壇活動団体数の増加・維持を図る必要がある。	今後も継続して、街かどの花壇整備や農業体験教室など、市民が自然に触れ合う場や機会の提供を推進する。		
実績	2,260 人	2,070 人	2,674	2,674	2,674	1,120	係長 0.04 人														
達成率	113.0 %	103.5 %					職員 0.05 人														
VII-3-(2)- ①	28	【施策評価のみ】東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	道路計画課	【施策の内容】 東九州自動車道建設促進協議会の要望活動	【施策の指標】 東九州自動車道の建設促進	—	目標 —	—	東九州自動車道の建設促進	—	—	—	—	課長 — 人	順調	—	順調	【評価理由】 東九州自動車道沿線の自治体（福岡県・大分県・宮崎県・鹿児島県）と協力しながら、国に対して整備活動の要望を行っており「順調」と判断。	今後も沿線自治体と協力・連携して要望活動に取り組む。		
実績	—	—					係長 — 人														
達成率	—	—					職員 — 人														